

# 「肉用牛ゼミナール 流通研修」

## 第1班 In 大阪

研修日：平成26年8月1日(金)～8月2日(土)  
研修先：大阪南港市場・「株式会社 大地」大阪支社他

今回、流通研修第1班として受講生の広瀬さん・古澤さん・西園さん・甲斐(正寿)さん計4名が参加。

南港市場では、まず県の梅木マーケターからセリ場でオレイン酸測定のお話を聞き、冷蔵庫でオレイン酸の測定を見学をしました。当日は大分県の共励会分を含め、佐賀・鹿児島・長野・山口など全部で180頭の牛が出荷されていました。



県畜産研修センターの研修生と合同で大阪市食肉市場株式会社の小林総務課係長から会社の概要、最近の枝肉状況などについてご説明を頂きました。

セリが開始され、共励会はA5-9(3頭)が最高で交雑種の最優秀賞は、(株)甲斐農産でゼミナール受講生の甲斐正寿さんが受賞されました。

その後、場所を県大阪事務所へ移し〔京阪神における「豊後牛」の取り組み〕などのご説明を受けました。





翌日は江坂の「大地」大阪支社で、「大地」の松村取締役、「ロックイン」古川取締役と意見交換会を行いました。

流通側より「肉の食材としての可能性をもっと研究していきたい」との話があり、黒毛和種・国産牛に携わる関係者として、『流通側』はどのような物が欲しいのか、『生産側』はどこを見据えて生産活動を行うのか等話し合い、双方の交流を重ね今後何らかの形で共同制作などができるようなことがあれば、それぞれが更に新しい展開を開くことができるかもしれないと感じました。



今回の研修を通じて、流通の最終段階までの情報を見開き視野が広がったことや、同世代の仲間との交流と親睦が図れたことは今後の大きな財産となるものと思います。

